



大きな変化のあった平成 20 年度

多摩市立図書館にとって、平成 20 年度は大きな変化のあった年度です。

まず、平成 19 年度末に多摩市立図書館（通称「本館」）が多摩センターに移転し、市役所第二庁舎に行政資料室が設置されました。

また、多摩市と日野市、稲城市、八王子市、町田市、調布市、府中市の7市で「京王沿線七市連携」を結び、相互利用を開始しました。

このふたつの要因により、平成 20 年度は過去最多の利用となりました。他にも、たま市民文庫リレートーク開催、資格・スキルアップコーナー設置などの新しい取り組みを始めました。

平成 20 年度の状況

蔵書数※	719,315 冊
登録者数	62,091 人
貸出冊数	1,667,791 冊
うち七市連携によるもの	134,003 冊
多摩市民の七市連携利用	66,551 冊
職員数（常勤・嘱託）	63 人
うち司書資格	45 人

※他に視聴覚資料 12,554 冊

七市連携の内訳

市	多摩市民の 他市利用	他市民の 多摩市利用
八王子市	7,794	45,107
府中市	7,966	5,198
調布市	2,057	1,489
町田市	1,072	9,437
日野市	7,911	38,403
稲城市	39,751	34,369
合計	66,551	134,003

【月別の主なできごと】

- 4月 京王沿線七市連携による相互利用サービス開始
- 9月 第5回「謎解き多摩ニュータウン」を開催
- 11月 本館に資格・スキルアップコーナーを新設
第1回たま市民文庫リレートークを開催
秋の読書週間イベント「絵本で子育て・孫育て」を開催
関戸図書館で「シニアを応援する講座」を開催
- 2月 第2回たま市民文庫リレートーク開催
第20回文庫展開催
- 3月 7日・8日 第2回子ども読書まつり本ともフェスタを開催



図書館のイメージキャラクター「やんぼとくん」です。初期の多摩市立図書館を支えた自動車図書館「やまぼと号」から名をもらい、また、やんちゃな性格は、読書という「静」が生きる力の「動」を生み出すダイナミズムを表現しています。



やんぼとくんの友だちの猫たちです。名前はまだまだありません。色々な性格の猫たちは本や図書館をとりまく環境であり、鳥の天敵である猫たちとやんぼとくんが仲良くしている姿は、多様性と調和への願いがこめられています。